

伝統文化を通じた新たな交流の場を創出

高崎伝統文化の館

華道や茶道など伝統文化の拠点として整備され、4月にオープンした「高崎伝統文化の館」(歌川町)。市文化協会や学校の部活動、サークルなどの文化活動のために利用されている他、7月から新たに若い世代向けの無料体験会を開催します。今回号では、同施設の概要や体験会の詳細についてお知らせします。問い合わせは、文化課 ☎027-321-1203) へ。



市ホームページ

今年4月に、伝統文化の新たな拠点として「高崎伝統文化の館」が開館しました。これは、令和5年10月に89歳で亡くなった小島鉄工所の8代目社長・児玉恒二さんが住居として使用していた建物と庭園を改修したものです。洋風の平屋住宅には庭園を望む居間があり、庭園には樹齢400年以上のケヤキや村上鬼城の句碑、手入れの行き届いた芝生があります。伝統文化の継承とさらなる発展を目指し、文化の拠点として活用していきます。



緑に囲まれた敷地の中でもひととき存在感のある、樹齢400年以上のケヤキ



居間から見渡せる、手入れの行き届いた庭園。青々とした芝生が広がり、花壇には季節の花が咲く



「泉わくや ときどき高く 吹き上ぐる」と詠まれた鬼城の句碑

伝統文化体験会

日本の伝統文化にふれてみよう

若い世代に日本の伝統文化に興味を持ち体験してもらうため、同施設で週替わりの体験会を開催します。初心者でも気軽に楽しめる内容になっているので、ぜひ参加してください。体験会は今後も同様の内容で、毎週土曜に継続して行います。

期日と内容 8月2日(土)=華道 9日(土)=茶道 23日(土)=和楽器 30日(土)=日本舞踊 **時間** 午前9時30分～11時30分 **対象** 高校生～39歳の人 **定員** 各先着20人 **費用** 無料 **申込** 市ホームページにある申込専用ページから応募



市文化協会に所属する団体の人に聞きました

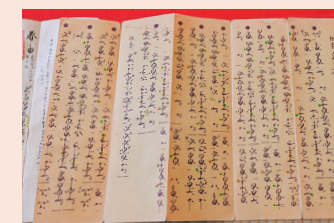
体験会を通じて若い世代に伝統文化に触れてほしい



群馬三曲協会会長
佐藤 肇(こうどう)さん

何人か集まって和楽器の練習や演奏をするには、ある程度の広さの部屋と、音を出してもよい環境が必要です。このような伝統文化のための施設ができてとてもありがたいです。

これまででも、出前演奏会などで皆さんに和楽器の演奏を聴いてもらえる機会を作るよう努めてきましたが、それでも普段伝統文化を見たり聴いたりする機会はなかなかないと思います。7月から始まる体験会を通じて、少しでも若い人たちに伝統文化に触れてもらえたらうれしいですね。



尺八の楽譜



精巧なデザインが施された琴

体験会のPRイベントを開催しました



6月15日、高崎オーパ前で、伝統文化体験会のPRイベントを開催しました。いずれも市文化協会の加盟団体である、群馬三曲協会による和楽器(琴、尺八)の演奏と、大日本茶道学会による茶道の体験会を実施。また、高崎北高校茶華道部の生徒がボランティアで参加し、来場者にお茶の点て方などを教えました。

茶道の体験に参加した人は「気軽に体験できました。茶せんで泡を立てるのが意外と難しかったです」と笑顔で話してくれました。